



学校ホームページもご覧ください。



綾瀬小だより

9月号

令和5年9月1日

足立区立綾瀬小学校

校長 小坂 裕紀

ゴールを決めてから始める

校長 小坂 裕紀

今年の夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。大きな事故やケガの報告はなく、みな元気に登校する姿をみることができ大変嬉しく思いました。また、心も体も大きく成長したようにも見えました。

サマースクール・水泳教室

本校では、今年度計10日間のサマースクールと水泳教室を実施しました。10日間の参加延べ人数は、サマースクールが3,027人、水泳教室が1,221人でした。

今年度のサマースクールは、学習教室に加え、学校図書館や自習室の解放、さらには夏休みの図工作品に取り組む「図工教室」を開催しました。水泳教室は、連日の猛暑により暑さ指数が危険水準に早い時間に発令される日々が続き、どの学年も入れるように途中から実施学年を変更させていただきました。プールカードフォームへの入力等のご協力ありがとうございました。

ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。(第2の習慣)

さて、問題です。右の図の迷路にチャレンジしてみてください。何かおかしくないですか？

そうです。ゴールがないのです。

では、次の問題です。おかしいと思うものはありますか？

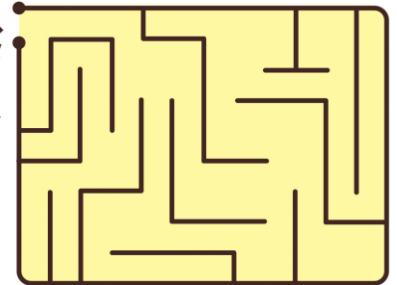
- 設計図をつくらずに家を建て始める
- レシピを確認せずに料理を作り始める
- 洋服の寸法を測らないで縫い始める

普通に考えれば、家を建てるときは設計図が、料理を作るときにはレシピが必要です。設計図やレシピがないまま行動に移すのは難しいことです。しかし、これを自分の生活に置きかえて考えてみてください。私たちは普段から、設計図やレシピを考えながら生活しているのでしょうか？

実は、ほとんどの人が考えずに生活しているのではないのでしょうか。どんな人になりたいか。将来どんな大人になり、どんな仕事に就きたいか、などなど。普段からいつも考えていますか？ほとんどの人はいつも考えてはいないはず。だとしたら、上記の迷路でおかしいと思ったことと同じことを私たちは自分の生活でやっていることとなります。生活がゴールのない迷路になってしまいます。だからこそ、設計図やレシピを考えながら生活していくことが、大切になるのです。

この習慣こそが、**第2の習慣「ゴールを決めてから始める。何が大切かを考える。」**という習慣なのです。今後は、これまでの**第1の習慣「自分で考えて行動する」**に加え、この第2の習慣を意識した教育活動を進めてまいります。

スタート



～運動会のお知らせ～ ※詳細は、後日お知らせします。

10月14日(土) 予備日15日(日)、以降17日(火) 順延

※16日(月)は、実施日に関係なく学校はお休みです

【午前の部】8時30分～11時30分 ※教室でお弁当。保護者は帰宅

【午後の部】12時15分～14時 ※1年生は競技なし(参観)

※全児童は、通常登校(8:00～)、下校予定時刻は、14時30分頃です。

※運動会開催の最終決定は、当日の朝6時までに行います。

※運動会当日・予備日の給食はありません。お弁当を持たせてください。

～教職員情報～

<ご退職>

植野 智子先生(1・3年図工)

<新着任>

寺前 天翔先生(3年生図工)

※9月より1年生の図工は、

学級担任が行います。

<ご懐妊>

一ノ宮 美咲先生がご懐妊

されました!